

食料・環境政策学

京都大学大学院地球環境学堂
資源利用評価論分野

（京都大学大学院農学研究科
生物資源経済学専攻
食料・環境政策学分野）

武 部 隆

講義に入る前に

- 1 自己紹介
- 2 大学院地球環境学堂と両任制度
 - 教育部門と研究部門を分離した独立研究科
 - 両任という独自の制度を採用
 - 環境マネジメント専攻は実務者養成が目的
- 3 京都大学の教育に関する基本理念
 - 自由の学風
 - 対話を根幹とした自学自習

食料・環境政策学分野 資源利用評価論分野

地域諸資源の利用・保全と管理の現状を、地球環境に配慮しつつ経済学的な立場から総合的に再検討および評価する。とくに、食料・農業・環境政策上の諸問題に関して、農業政策の目標と手段、政府ならびに自治体の役割と課題等を明らかにしながら、資源利用評価の観点から考究する。また、農政経済学的思考によって得られた成果を、近年の社会的課題の解決に向け還元する。

科目の内容

農業政策上の諸問題を対象に、公共経済学および経営政策の立場から、農業政策の目標と手段、政府・自治体の役割と課題等にも言及しながら、日本および海外の事例に基づき講義する。

農業政策の政策領域

- 1 生産政策
- 2 価格流通政策
- 3 構造政策
- 4 農村政策

- 5 食料政策
- 6 環境政策

「農業基本法(農基法)」と「食料・農業・農村基本法(新農基法)」

	農業基本法(昭和36年)	新農業基本法(平成11年)
目的等	<p>■農業の発展と農業従事者の地位の向上 (農業と他産業の生産性格差の是正と生活水準の均衡)</p>	<p>■食料、農業、農村を対象に国民的視点からの施策の実施 (食料の安定的供給と農業・農村の多面的機能の十分な発揮)</p>
食料	—	<p>■食料自給率の目標策定 ■不測の事態における危機管理体制の構築</p>
農業	<p>■生産政策 (需給事情に対応した農業生産の選択的拡大)</p>	<p>■主要農産物の生産努力目標の策定とその達成を目指した生産の展開 ■農業が有する自然環境機能の発揮</p>
	<p>■価格流通政策 (価格政策を通じた農産物の価格の安定)</p>	<p>■市場原理を重視した価格形成の実現と意欲ある担い手に対する経営安定のための所得確保対策</p>
	<p>■構造政策 (自立経営の育成による農業経営の近代化)</p>	<p>■意欲ある多様な担い手の確保・育成</p>
農村	<p>■農村政策 (交通、衛生、文化等の農村環境の整備)</p>	<p>■美しく住みよい農村空間を創造するための総合的な農村整備 ■都市農業の振興 ■中山間地域等直接支払いの導入 ■農業生産の環境形成機能に着目した施策の導入</p>

農業と環境：農業における環境問題

■ 農業が環境に及ぼす影響

- 良い影響：水源涵養等の農業の多面的機能 etc.
- 悪い影響：肥料多投入による地下水の硝酸性窒素汚染 etc.

■ 環境が農業に及ぼす影響

- 良い影響：よく管理された里山による野生獣害の低減 etc.
- 悪い影響：地球温暖化や酸性雨による農作物の生育不全 etc.

■ 農業分野における各種環境問題

農業が環境に及ぼす悪い影響

- ①肥料多投入による水・土壌の硝酸性窒素汚染の問題
- ②肥料・農薬多投入による河川・湖沼の富栄養化の問題
- ③畜産地帯におけるハエや悪臭発生の問題
- ④農作物に付着した残留農薬の問題
- ⑤遺伝子組換え作物が生態系に及ぼす問題 etc.

環境が農業に及ぼす悪い影響

- ⑥地球温暖化や酸性雨による農作物の生育不全の問題
- ⑦汚染土壌で生産される農作物汚染の問題 etc.

授業計画

- 1 農業本質論
- 2 食料不足と食料問題
- 3 環境ガバナンス
- 4 農地取得政策
- 5 農業法人政策
- 6 農業担い手政策
- 7 農業と環境政策